令和2年 インターンシップ

県内企業を対象に、令和2年2月から10月までインターンシップが行われ、3校73名の生徒が実際に職場体験をしました。今回はその中から9名の感想文を紹介します。

山口県立岩国工業高等学校　都市工学科1年　参加生徒35名

大西 月乃　㈱ミヤベ

今回のインターンシップでは、たくさんの現場を見ることができました。2日目に見学した道路舗装の現場では、アスファルトを機械を使って固めており、水でアスファルトを濡らしながら行わないと、アスファルトと機械がくっついてしまうことなどを教えてもらいました。またアスファルトの温度は160度もあり、とても驚きました。午後からは災害復旧工事の現場を見学しました。そこではレベルを使った測量をさせてもらい、据え付け方などを一から教えてもらいました。

3日目は銭壺山の道路整備の現場に行きました。山を削ったりして道路を広げる工事でしたが、とても細かいところまで規定の数字に合わせなくてはならないので、大変だなと思いました。

3日間でさまざまな現場を見学し、土木に係る仕事でも様々な種類があることが分かりました。

田中 颯　㈱石川組

私は最初とても緊張していましたが、石川組の方々が気さくに話かけてくださり、楽しく充実した3日間を過ごすことができました。

1日目に行ったレベル測量では、数値が合わず何度もやり直しましたが、同社の吉富さんが冗談を交えつつ、丁寧に教えてくださいました。また仕事のやりがいなども聞くことができ、参考になりました。2日目に訪れた玖珂の工事現場では同社の永谷さんにトランシットの使い方と、早くできる据え付けの仕方を教えていただきました。午前中は据え付けを練習し、午後はトランシットを使って点を求めたり、水路がまっすぐになっているかを確認したりしました。最終日は地域のパトロールに同行し、道路や路肩の状態を確認してまわりました。パトロール中に川におじぎりがいること等も教えてもらい、地域の環境のこともしっかり見られているのだなと感心しました。

習の授業を頑張ろうと思いました。

実際に体験することで、仕事の楽しさや凄さなどたくさん知ることができました。今後の進路選択に役立てたいと思います。

山口県立山口農業高等学校　環境科学科　参加生徒24名

驛永 良樹　㈱田中技研コンサルタント

1日目に徳地へ行き、佐波川の災害発生現場を見学しました。実際に見ることができない箇所を、ドローンを使って上空から写真を撮らせてもらいました。初めてドローンを操作するので全く分かりませんでしたが、担当の方に優しく丁寧に教えていただいたおかげで、上手く操作することが出来ました。その後GNSS測量をしました。器械操作に不慣れでこの測量はとても難しく感じました。また、トータルステーションや反射鏡（プリズム）を使い、縦断測量をしました。担当の方は2分もかからず据え付けを完了させておられ、その速さに驚きました。

今回のインターンシップでは担当の方お二人に、ドローンの使い方や測量のこと、パソコンの使い方など

をつきっきりで指導していただきました。インターンシップで学んだことを今後の学校生活で生かして頑張りたいと思います。

神宮司 聖　石山建設㈱

実習では下水道工事などで使うカメラ車などをみせていただきました。カメラ車は、聞くのも初めてでどんなものなのかと思っていたら、意外と外見は普通の車でした。でも車内にはカメラ車を使うときに見る、モニターと台車を動かすボタンなどがあり、今回はその台車を動かすという貴重な体験をさせていただきました。

また農業高校の近くにある生コン工場に行きました。生コン工場は、大きい機械が多くてすごい迫力でした。生コンについての主な説明をしていただいた後、コンクリートのスランプ試験の体験もさせてもらいました。工場内見学では、生コンを作る際の機械の名前をたくさん教えてもらいました。他にもアスファルト工場の見学など、どれもインターンシップだから体験できたことばかりなので、お世話になった石山建設の皆さんや、見学させていただいた会社の方々にとても感謝しています。この経験を生かして、これからの授業や部活動、資格試験に励んでいきたいと思います。

山口県立山口農業高等学校　環境土木科　参加生徒14名

有澤 拓哉　㈱ソイル・ブレーン

今回の実習では、水文調査を実際に体験させてもらいました。最初は道具の使い方も分からずうまくできませんでしたが、担当の方に丁寧に教えてもらい、少しずつ理解して動くことができました。今回は現場実習ということで一つ一つ丁寧に説明しながら行いましたが、実際はもっと複雑なことを早く正確にすると聞きました。遅れを取らないように、しっかりと今からでも勉強して理解をしておくことが大切だと思いました。

また、地質調査の現場見学もさせていただきました。現場では、大きな機械を使用して地質を調べていました。穴をあけ、そこに土を入れる容器を入れ、高いところから約65キログラムの重りを落として基準値まで下がったらそれを取り出しその土を調べるという方法でした。実習の最後には、地形・地質の話も聞かせていただき、特に断層の話はとても印象に残りました。

井下 黎乃　井森工業㈱

2日間のインターンシップで、大島大橋の橋りょうの鋼管杭の補修や、国道188号別府地区ほか防災工事など色々な現場を見学させていただきました。いつも私たちが通っている橋や道路も知らない所で検査をしていたり、安全に便利に通ることのできる道を作ってくれていたり、私たちの生活は、土木建設業のおかげで成り立っていると改めて感じました。

また土木・建設業は、男性の方が多く働いておられますが、井森工業では11名の女性が働いておられました。ポンプ場建設工事の工事現場でも、女性が働いておられ、私と2歳しか離れていないのに、しっかりされていて、とても明るい方でした。周りの男性の方とも仲良く話されていて、楽しく仕事をしているのだと感じました。とても活躍されていてかっこいいなと思いました。皆さんのようなエンジニアになれるように、残された高校生活を充実させていきたいと改めて思いました。

小田 隆人　勝井建設㈱

現場では常に全員が次にするべき事を分かっていてスムーズに作業が進んでいるという感じでした。土木の仕事は力仕事というイメージを持っていましたが、常に周りに注意をして動いたり、体積や面積の計算をその場でして工事をするなど、頭の中で仕事の順序をたてて進めていかないといけない。手際が大切だと現場を見ていて思いました。

工事のスケジュール表や写真撮影の方法と必要性など普段見ることのできない工事の裏側を見させていただき、土木工事がどれほど大切で私たちの生活の基盤になっているかが分かりました。今回のインターンシップは、将来に職に就いた時を考えて臨みました。自分にできることが少なくまだまだ勉強が足りないと痛感しました。ですが、その分現場の見学や質問などがたくさんできたのでよかったです。

令和2年インターンシップ
実施企業のべ42社（参加生徒数73名）

令和2年2月12日～14日
岩国工業高等学校 令和元年度現場実習
（16社35名分）

- 八木興業㈱
- 勝井建設㈱
- ㈱ガンシン
- ㈱太昭組
- 日栄興業㈱
- ㈱藤川興業所
- ㈱ミヤベ
- ㈱森野組
- ㈱ポスコ
- 渡邊工業㈲
- ㈱石川組
- ㈱清水組
- ㈱エムエスシー
- ㈱坂本建設コンサルタント
- ㈱錦測量事務所
- ㈲谷光測量事務所

令和2年8月19日～21日
山口農業高等学校 夏期現場実習
（14社24名分）

- 山口建設㈱
- 石山建設㈱
- ㈱技工団
- シマダ㈱
- ㈱宗像建設
- 五十鈴工業㈱
- 山陽建設工業㈱
- 澤田建設㈱
- ㈱山口建設コンサルタント
- ㈱三建調査設計
- ㈱田中技研コンサルタント
- ㈱アサヒコンサル
- ㈱リクチコンサルタント
- ㈱イタガキ建設コンサルタント

令和2年10月27日～28日
田布施農工高等学校 現場実習
（12社14名分）

- 井森工業㈱
- ㈱大池組
- 日立建設㈱柳井支店
- ㈱河本土木建設
- 勝井建設㈱
- 洋林建設㈱
- 共同産業㈱
- 時盛建設㈱
- ㈱川畑建設
- ㈱中山組
- ㈲泉土木コンサルタント
- ㈱ソイル・ブレーン